

# 疾病対策課の主な施策関係資料 (平成20・21年度分)

平成20年5月16日

厚生労働省健康局疾病対策課 星、下羅

(代表) 03-5253-1111 (内) 2358

(直通) 03-3595-2249

財団法人エイズ予防財団 山崎、柏崎

(代表) 03-5259-1811

## 平成20年度HIV検査普及週間の実施について

### 1 目的

国や都道府県等が行う検査・相談体制の充実を図る取組みを強化することにより、国民のHIVやエイズに対する関心を喚起し、もってHIV検査の浸透・普及を図るため、キャンペーン活動等を実施する。

### 2 期間

平成20年5月27日(火)から6月7日(土)まで  
(検査普及週間 6月1日から6月7日まで)

### 3 厚生労働省が実施するイベント等の概要

#### (1) ラジオによる普及啓発 (5月下旬から6月7日まで)

- HIV検査普及週間の実施の告知と、アンジェラ・アキさんからのHIV検査受検呼びかけコメントを、FMの番組または番組間で放送する。
- 放送予定局  
東京FM、FM愛知、FM大阪、FM富士、FM長野、広島FM、FM沖縄 等

#### (2) RED RIBBON TALK&LIVE ～HIV検査に行こう！～

(5月27日(火) 18:00～20:00 予定)

山本シュウ、伊藤かずえ、岡本真夜、押尾コータロー、K、高嶋政

伸などによる無料招待のライブを行い、若者を中心とした世代に予防啓発のメッセージを発信する（別紙1）。

(3) 街頭キャンペーン（5月27日（火）15:00～17:00 予定）

渋谷駅周辺において、（財）エイズ予防財団を中心にNGOやボランティア等の協力を得てエイズ予防啓発グッズを配布する（別紙2）。

(4) HIV（エイズ）無料検査（6月1日（日）10:00～17:00 予定）

水道橋三崎町クリニックにてHIV無料検査を実施する（別紙3）。

(5) インターネットによる啓発及び情報提供（別紙4）

- ① Yahoo! JAPAN との連携企画として「レッドリボンキャンペーン」をインターネット上で展開
- ② （財）エイズ予防財団のホームページ（エイズ予防情報ネット）において、検査普及週間前後に全国の自治体で実施されるイベントの紹介及び検査相談体制の案内を掲載

(6) 公共広告機構（AC）ポスターによる啓発

啓発ポスターの配布

- ・ 自治体、保健所等
  - ・ 交通広告（JR、都営及び私鉄各社）
- 掲示期間：5月上旬から6月7日まで

#### 4 その他の取組

(1) HIV検査普及週間キャンペーン in 大阪

（5月26日（月）から6月7日（土）まで）

若年層、サラリーマン、OLを主な対象として、大阪府、大阪市、大阪検査相談・啓発・支援センターchotCAST なんば、エフエム大阪、アムムラプレス、ribia.tv等の協力を得て啓発キャンペーンを展開（主催：（財）エイズ予防財団）（別紙5）

## RED RIBBON TALK&LIVE ～HIV 検査に行こう！～ の実施について

1. 主 催 厚生労働省、(財)エイズ予防財団
2. 総合プロデュース・司会 山本シュウ
3. 日 時 平成20年5月27日(火)  
開場17:30 開演18:00～20:00(予定)
4. 開催場所 SHIBUYA BOXX  
(東京都渋谷区神南2-1-1)
5. 出演者 相方不在(フットサルチーム・カレッツァ所属)  
アメリカザリガニ  
伊藤かずえ  
遠藤憲昭(DEVILLOCK)  
岡本真夜  
押尾コータロー  
菊池嘉(国立国際医療センター臨床研究開発部長)  
K  
SunSet Swish  
高嶋政伸  
TKO  
はるな愛  
藤田志穂  
堀之内剛(プロスノーボーダー)  
松本隆博  
美元  
安田大サーカス

(50音順)

### 6. 実施内容

ラジオDJ山本シュウの呼びかけに賛同したアーティスト、エンターテイナーたちが一同に集結。トークとライブで強力なメッセージを発信。

- (1) 山本シュウ司会による俳優、TVタレント、ミュージシャン、エイズ医療に関する専門家などによるトーク
- (2) 参加アーティストによるライブ
- (3) イベントの様子は後日、Yahoo! JAPAN のサイトにおいて動画配信する。

7. 参加費

無料（完全招待制）

8. 参加方法

募集期間 5月17日（土）12:00 から5月20日（火）23:00 まで  
抽選で50名を招待

告知サイト エイズ予防情報ネット <http://api-net.jfap.or.jp/>

## 街頭キャンペーンの実施について

1. 日 時  
平成20年5月27日（火）15:00から17:00（予定）
2. 場 所  
渋谷駅 ハチ公前周辺
3. 参加団体  
厚生労働省、（財）エイズ予防財団、NGO、学生ボランティア等
4. 参加者数  
30名程度
5. 実施内容  
（財）エイズ予防財団作成のパンフレット、コンドーム、保健所によるHIV検査案内をセットにして配布

## H I V (エイズ) 検査の実施について (無料・匿名)

1. 日 時

平成20年6月1日(日) 10:00から17:00(予定)

2. 場 所

水道橋三崎町クリニック

〔 東京都千代田区三崎町1-3-12 水道橋ビル5階  
JR水道橋駅東口徒歩2分、都営三田線水道橋駅A1出口徒歩3分 〕

3. 検査主体

(財)エイズ予防財団

4. 検査の種類

即日検査(検査結果は当日お知らせします)

5. 予約方法

事前予約制

〔 予約受付期間:5月19日(月)~5月29日(木)  
予約受付時間:10時~17時(月曜日から金曜日まで)  
電話番号03-5259-1817に連絡の上、検査の時間等の予約をお願い  
します。 〕

## インターネット等による啓発及び情報提供

### 1 エイズ予防情報ネット

(財) エイズ予防財団のエイズ予防情報ネット (API-NET) において、通常の予防啓発に関する情報に加えて、HIV検査普及週間前後に全国の自治体で実施されるイベント及び検査相談の実施体制等について情報提供を行う。

エイズ予防情報ネット <http://api-net.jfap.or.jp/>

### 2 Yahoo! JAPAN による啓発

①Yahoo! JAPAN の独自企画として実施している「レッドリボンキャンペーン」と連携し、「RED RIBBON TALK&LIVE ～HIV 検査に行こう!～」(別項) の模様を動画配信する。

②HIV検査の重要性等についてラジオD J 山本シュウとアンジェラ・アキ、伊藤かずえによるライブトークを Yahoo! JAPAN のサイトで配信する。

(配信日: 6月3日 19:00～)

#### (Yahoo! JAPAN の概要)

会社名 ヤフー株式会社

市場名 東証1部、JASDAQ 銘柄コード: 4689

本社 東京都港区 設立年月日: 1996年1月31日

代表取締役 井上雅博

1ヶ月あたり約4,980万人のユニークカスタマー数※と、1日16億ページビューのアクセスを誇るインターネットの総合情報サイトで、検索、コンテンツ、コミュニティコマース、モバイルなど多くのサービスを提供しています。

(※) 2008年3月のNielsen Online「NetView AMS JP」における家庭からの視聴率88%、職場からの視聴率88.9%というデータをもとに、家庭、または職場からのインターネットユーザーを約5655万人(Nielsen Online「インターネット基礎調査」より)としてYahoo! JAPANのユニークカスタマー数を算出。



## H I V検査普及週間キャンペーン in 大阪の実施について

### 1. 主 催

(財) エイズ予防財団

### 2. 期 間

平成20年5月26日(月)から6月7日(土)まで

### 3. 協 力

大阪府、大阪市、大阪検査相談・啓発・支援センターchotCAST なんば

### 4. 制作協力

エフエム大阪、アメモラプレス、ribia.tv

### 5. 実施内容

若年層、サラリーマン、OLを主な対象として、エフエム大阪のH I V・エイズ啓発キャンペーンと連動しながら啓発キャンペーンを展開

(1) 啓発ブックの配布

(2) キタ、ミナミなど大阪の集客スポットでの街頭キャンペーン

(3) タレントやオピニオンリーダーのコメント等を街頭ビジョンで告知



公 開  
頭 撮 り 可

平成21年5月11日

照会先

健康局疾病対策課エイズ調査係 木村・喜多・円谷・小澤

(電話) 03(5253)1111 [内2358]

財団法人エイズ予防財団 沢崎・堀内

(電話) 03(5259)1811

## 平成21年度HIV検査普及週間の実施について

### 1. 目的

国や都道府県等が行う検査・相談体制の充実を図る取組みを強化することにより、国民のHIVやエイズに対する関心を喚起し、もってHIV検査の浸透・普及を図るため、キャンペーン活動等を実施する。

### 2. 期間

平成21年5月17日(日)から6月7日(日)まで  
(検査普及週間 6月1日から6月7日まで)

### 3. 厚生労働省が実施する主な事業

#### 【東京でのイベント等】

#### (1) RED RIBBON LIVE 2009 Spring ～HIV検査に行こう！～

[5月31日(日) 17:00～20:00 予定]

SHIBUYA-AXにおいて、alan、小森純(Popteenモデル)、<sup>そんい</sup>孫暉(Popteenモデル)、mihimaru GT、LOVE、LiLiB、LADY BIRD feat. ソンイなどによる無料招待のライブ&トークを行い、若者を中心とした世代に予防啓発のメッセージを発信する。

#### (2) 街頭キャンペーン [5月31日(日) 14:00～16:00 予定]

渋谷駅周辺において、NGO、ボランティアと協力してエイズ予防啓発グッズを配布する。

### (3) HIV (エイズ) 無料検査

- ① 渋谷での検査 [5月31日(日) 13:00~19:30 予定]  
シブヤ・ネクサスにおいて、NGOと協力してHIV無料検査を実施する。
- ② 水道橋での検査 [6月7日(日) 10:00~18:00 予定]  
水道橋三崎町クリニックにおいて、HIV無料検査を実施する。

### **【大阪でのイベント等】**

#### (1) RED RIBBON LIVE 2009 Spring ~HIV 検査に行こう!~ in OSAKA

[5月17日(日) 15:30~17:30 予定]

アメリカ村三角公園-御津公園において、押尾コータロー、KAR IYA、SunSet Swish、PENGIN×遠藤淳、RYT HEMなどによる無料招待のライブ&トークを行い、若者を中心とした世代に予防啓発のメッセージを発信する。

#### (2) 街頭キャンペーン [5月17日(日) 13:00~17:30 予定]

アメリカ村三角公園-御津公園周辺において、NGO、ボランティア、民間企業と協力してエイズ予防啓発グッズを配布する。

#### (3) HIV (エイズ) 無料検査 [5月17日(日) 13:00~19:00 予定]

chotCASTなんばにおいて、NGOと協力してHIV無料検査を実施する。

### **【その他の取組】**

#### (1) インターネットによる啓発及び情報提供

- ① 「レッドリボンライブ」オフィシャルサイト (<http://redribbonlive.jp/>) を新たに開設し、今回実施するイベント情報の配信を含め、啓発活動をインターネット上で展開
- ② (財)エイズ予防財団のホームページ(エイズ予防情報ネット)において、検査普及週間前後に全国の自治体で実施されるイベントの紹介及び検査相談体制の案内を掲載

#### (2) 公共広告機構(AC)ポスターによる啓発

啓発ポスターの配布

- ・自治体、保健所等
- ・交通広告(JR、都営及び私鉄各社)

掲示期間: 5月上旬から6月7日まで

## RED RIBBON LIVE 2009 Spring ～HIV 検査に行こう！～ の実施について

1. 主催  
厚生労働省

2. 総合プロデュース・司会  
山本シュウ

3. 出演者

alan、小森純 (Popteen モデル)、孫<sup>そんい</sup>暉 (Popteen モデル)、mih  
imaru GT、LOVE、Li'l B、LADY BIRD feat.  
ソニーなどの賛同者が多数参加 (50 音順)

4. 実施内容

ラジオDJ山本シュウの叫びに賛同したアーティスト、エンターテイナーたちが SHIBUYA-AX に集結。次世代を担う新進気鋭のアーティスト等から、10 代後半～20 代前半の若者を中心とした世代へ、トークとライブで熱いメッセージを発信していきます。

- (1) 山本シュウ司会によるTVタレント、ファッションモデル、ミュージシャン、エイズ医療に関する専門家などによるトーク
- (2) 参加アーティストによるライブ
- (3) イベントの様子は後日、「レッドリボンライブ」オフィシャルサイト (<http://redribbonlive.jp/>) において動画配信 (予定)

5. 開催日時

平成 21 年 5 月 31 日 (日) 開場 16:00 開演 17:00～20:00 (予定)

6. 開催場所

SHIBUYA-AX (東京都渋谷区神南 2-1-1)

7. 参加費

無料 (抽選による招待制)

8. 参加方法

募集期間 5 月 12 日 (火) 12:00 ～ 5 月 21 日 (木) 12:00

抽選で 500 名を招待

告知サイト 「レッドリボンライブ」オフィシャルサイト

<http://redribbonlive.jp/>

# RED RIBBON LIVE 2009 Spring ~HIV 検査に行こう!~ in OSAKA の実施について

- 1 主催  
厚生労働省
- 2 総合プロデュース・司会  
山本シュウ
- 3 出演者  
押尾コータロー、KARIYA、SunSet Swish、PENG  
IN×遠藤淳、RYTHEMなどの賛同者が多数参加  
(50音順)
- 4 実施内容  
ラジオDJ山本シュウの叫びに賛同したアーティストたちがアメリカ村三角公園に集結。トークとライブで強かにメッセージを発信し、大阪の若者たちに訴えかけていきます。  
(1) 山本シュウ司会によるミュージシャン、エイズ医療に関する専門家などによるトーク  
(2) 参加アーティストによるライブ
- 5 開催日時  
平成21年5月17日(日) 開演15:30~17:30(予定)
- 6 開催場所  
アメリカ村三角公園-御津公園  
(大阪府大阪市中央区西心斎橋2-11-34)
- 7 参加費  
無料

## 街頭キャンペーンの実施について

### 【東京】

- 1 日時  
平成21年5月31日(日) 14:00~16:00(予定)
- 2 場所  
渋谷駅 ハチ公前周辺
- 3 参加団体  
厚生労働省、東京都、渋谷区、(財)エイズ予防財団、民間企業、NGO、学生ボランティア等
- 4 参加者数  
40名程度
- 5 実施内容  
(財)エイズ予防財団作成のパンフレット、コンドーム、保健所によるHIV検査案内等をセットにして配布

### 【大阪】

- 1 日時  
平成21年5月17日(日) 13:00~17:30(予定)
- 2 場所  
アメリカ村三角公園-御津公園周辺
- 3 参加団体  
厚生労働省、(財)エイズ予防財団、エフエム大阪、アメモラプレス、(株)ジェクス、NGO、学生ボランティア等
- 4 参加者数  
30名程度
- 5 実施内容  
(財)エイズ予防財団作成のパンフレット、コンドーム、保健所によるHIV検査案内等をセットにして配布

## HIV（エイズ）無料検査の実施について

### 【東京】

#### （渋谷での検査）

- 1 日時  
平成21年5月31日（日） 13:00～19:30（受付は13:00～16:30）  
(予定)

※検査は事前予約制とし、先着100名までとする。

- 2 場所  
シブヤ・ネクサス  
〔 東京都渋谷区道玄坂2-9-9 梅原ビル 〕  
JR 渋谷駅ハチ公口徒歩2分

- 3 検査主体  
(財) エイズ予防財団、HIVと人権・情報センター、渋谷区保健所

- 4 検査の種類  
即日検査（検査結果は当日お知らせします）

- 5 予約方法  
事前予約制  
〔 予約受付期間 5月11日（月）～5月29日（金）  
予約受付時間 12:00～18:00（月曜日から金曜日まで）  
電話番号 03-5259-0255 にご連絡の上、検査の時間等の予約をお願いします。 〕

#### （水道橋での検査）

- 1 日時  
平成21年6月7日（日） 10:00～18:00（予定）  
※検査は事前予約制とし、先着45名までとする。

- 2 場所  
水道橋三崎町クリニック  
〔 東京都千代田区三崎町1-3-12 水道橋ビル5階 〕  
JR 水道橋駅東口徒歩2分、都営三田線水道橋駅A1出口徒歩3分

- 3 検査主体  
（財）エイズ予防財団
- 4 検査の種類  
即日検査（検査結果は当日お知らせします）
- 5 予約方法  
事前予約制  
（予約受付期間 5月12日（火）～6月5日（金）  
予約受付時間 10:00～17:00（月曜日から金曜日まで）  
電話番号 03-5259-1817 にご連絡の上、検査の時間等の予約をお願いいたします。）

## 【大 阪】

- 1 日時  
平成21年5月17日（日） 13:00～19:00（受付は13:00～16:00）  
（予定）  
※検査は先着順100名までとする（整理券を12:30より配布）。
- 2 場所  
c h o t . C A S T なんば  
（大阪府大阪市浪速区難波中1-6-8 イチエイ総合ビル3階  
地下鉄御堂筋線なんば駅6番出口徒歩1分（出口直結））
- 3 検査主体  
（財）エイズ予防財団、HIVと人権・情報センター
- 4 検査の種類  
即日検査（検査結果は当日お知らせします）



## インターネット等による啓発及び情報提供について

### 1 エイズ予防情報ネット

(財) エイズ予防財団のエイズ予防情報ネット (API-NET) において、通常の予防啓発に関する情報に加えて、H I V検査普及週間前後の期間に全国の自治体で実施されるイベントやH I V検査・相談の実施体制等について情報提供を行う。

エイズ予防情報ネット <http://api-net.jfap.or.jp/>

### 2 「レッドリボンライブ」オフィシャルサイトによる啓発

「レッドリボンライブ」オフィシャルサイトを新たに開設し、同サイトにおいて以下のような情報発信を行うことにより、インターネット上でも啓発活動を展開する。

- ① 著名人のエイズ啓発に関するメッセージやコメント等の掲載
- ② 「RED RIBBON LIVE 2009 Spring ～HIV 検査に行こう！～」ほかレッドリボンライブに関する案内
- ③ 「RED RIBBON LIVE 2009 Spring ～HIV 検査に行こう！～」の様子をオンデマンド配信 (予定)
- ④ その他H I V／エイズの予防啓発に関する情報の掲載

「レッドリボンライブ」オフィシャルサイト

<http://redribbonlive.jp/>

平成20年11月4日  
厚生労働省健康局疾病対策課  
担当者 三好、星、喜多、下羅  
電話(代表) 03-5253-1111(内線) 2358  
財団法人エイズ予防財団  
担当者 宮坂、柏崎  
電話(直通) 03-5259-1811

## 世界エイズデーについて

### 1 世界エイズデーとは

WHO(世界保健機関)は、1988年に世界的レベルでのエイズまん延防止と患者・感染者に対する差別・偏見の解消を図ることを目的として、12月1日を“World AIDS Day”(世界エイズデー)と定め、エイズに関する啓発活動等の実施を提唱した。我が国としても、その趣旨に賛同し、毎年12月1日を中心にエイズに関する正しい知識等についての啓発活動を推進しており、全国各地で様々な「世界エイズデー」イベントが実施されている。

### 2 今年度の世界エイズデーキャンペーンテーマについて

#### (1) テーマ

Living Together ～ちよつとの愛からはじまる事～

#### (2) 選定の趣旨

様々なセクシャリティ(性行動の対象の選択や性に関連する行動・傾向)の人々や、HIV陽性の人々、陰性の人々が一緒に生きている現実をありのままに受け止め、エイズのまん延防止や差別・偏見の解消のために、ひとりひとりに何ができるかを国民全体で考えていく。

### 3 実施主体及び実施方法

#### (1) 厚生労働省

(財)エイズ予防財団、エイズ関連NGO等の関係団体及び民間企業、報道機関等の協力を得て、全国的な啓発活動の推進を図る。

#### (2) 都道府県、保健所を設置する市及び特別区

関係機関及び関係団体等との連携を密にし、それぞれの地域の実情に応じた広報計画、実施計画に基づき、エイズに関する正しい知識の啓発活動を展開する。

#### 4 厚生労働省が主催する主な事業

##### (1) RED RIBBON LIVE 2008 [11月29日(土)17:30~21:00 予定]

アンジェラ・アキ、今井絵理子、押尾コータロー、小林麻央、小松成美(作家)、SEAMO、TKO、TERU(GLAY)(トークゲスト)、HYDE、フジテレビアナウンサー佐々木恭子、和代人平(画家/光絵パフォーマンスアーティスト)等による無料招待のライブ&トークを行い、若者を中心とした世代に予防啓発のメッセージを発信する。

##### (2) 街頭キャンペーン [11月29日(土)12:00~15:00 予定]

渋谷駅周辺において、NGO、ボランティア、民間企業と協力してエイズ予防啓発グッズを配布する。

##### (3) HIV(エイズ)無料検査 [11月30日(日)10:00~18:00 予定]

水道橋三崎町クリニックにてHIV無料検査を実施する。

##### (4) エイズ啓発ポスターの配布

青少年層に対して、HIV/エイズについて関心をもってもらい、また考えるきっかけにするため、小学生、中学生、高校生、一般の部門ごとに最優秀賞、優秀賞等を選出し、(財)エイズ予防財団において表彰式を行うとともに、RED RIBBON LIVE 2008 会場内において作品を掲示する。

また、ポスターコンクール最優秀賞の中から決定した普及啓発ポスターと、公共広告機構(AC)の協力により作成したポスターを、官公庁、地方公共団体、エイズ治療拠点病院、映画館、公衆浴場等に掲示する。

##### (5) インターネットによる啓発及び情報提供

Yahoo! JAPAN の独自企画「レッドリボンキャンペーン 2008」と連携して、啓発活動をインターネット上で展開する。

また、(財)エイズ予防財団のホームページ(エイズ予防情報ネット)において、世界エイズデー前後に全国の自治体で実施されるイベントの紹介及び検査相談体制の案内を掲載する。

## RED RIBBON LIVE 2008の実施について

わが国におけるHIV感染者・エイズ患者の新規報告数は、依然として増加傾向にあります。この危機的な状況に歯止めを掛けるため、ラジオDJ山本シュウを中心に、様々な著名人が各界から集結し、ライブとトークを通じてエイズの予防啓発を呼びかける「RED RIBBON LIVE 2008」を開催します。

### 1 主催

厚生労働省、(財)エイズ予防財団

### 2 総合プロデュース・司会

山本シュウ

### 3 出演

アンジェラ・アキ、今井絵理子、押尾コータロー、小林麻央、小松成美(作家)、SEAMO、TKO、TERU (GLAY) (トークゲスト)、HYDE、フジテレビアナウンサー佐々木恭子、和代人平(画家/光絵パフォーマンスアーティスト)などの賛同者が多数参加

(50音順)

### 4 実施内容

ラジオDJ山本シュウの叫びに賛同したアーティスト、エンターテイナーたちが一堂に集結。トークとライブで強烈なメッセージを発信。

- (1) 山本シュウ司会による、ラジオDJ、TVタレント、ミュージシャン、エイズ医療に関する専門家などによるトーク
- (2) 参加アーティストによるライブ
- (3) 当日参加できない賛同者のメッセージ映像の上映
- (4) イベントの様様をYahoo! JAPANのサイトにおいてオンデマンド配信(予定)

### 5 開催日時

平成20年11月29日(土) 開場16:30 開演17:30~21:00

### 6 開催場所

SHIBUYA-AX (東京都渋谷区神南2-1-1)

7 参加費

無料（抽選による招待制）

8 参加方法

募集期間 11月5日（水）12:00～11月19日（水）12:00

抽選で500名を招待

告知サイト エイズ予防情報ネット <http://api-net.jfap.or.jp/>  
Yahoo! JAPAN <http://redribbon.yahoo.co.jp/>

## 街頭キャンペーンの実施について

1. 日時  
平成 20 年 11 月 29 日（土）12:00～15:00（予定）
2. 場所  
渋谷駅 ハチ公前周辺
3. 参加団体（予定）  
厚生労働省、東京都、渋谷区、港区、（財）エイズ予防財団、民間企業、NGO、学生ボランティア等
4. 参加者数  
40 名程度
5. 実施内容  
（財）エイズ予防財団作成のパンフレット、コンドーム、保健所による HIV 検査案内等をセットにして配布

## HIV（エイズ）無料検査の実施について

1 日時

平成 20 年 11 月 30 日（日） 10:00～18:00（予定）

※検査は事前予約制とし、先着 45 名までとする。

2 場所

水道橋三崎町クリニック

〔 東京都千代田区三崎町 1-3-12 水道橋ビル 5 階  
JR 水道橋駅東口徒歩 2 分、都営三田線水道橋駅 A1 出口徒歩 3 分 〕

3 検査主体

（財）エイズ予防財団

4 検査の種類

即日検査（検査結果は当日お知らせします）

5 予約方法

事前予約制

〔 予約受付期間 11 月 4 日（火）～11 月 28 日（金）  
予約受付時間 10:00～17:00（月曜日から金曜日まで）  
電話番号 03-5259-1817 にご連絡の上、検査の時間等の予約をお願い  
します。 〕

# インターネット等による啓発及び情報提供について

## 1 エイズ予防情報ネット

(財)エイズ予防財団のエイズ予防情報ネット(API-NET)において、通常の予防啓発に関する情報に加えて、世界エイズデー前後の期間に全国の自治体で実施されるイベントやH I V検査・相談の実施体制等について情報提供を行う。

## 2 Yahoo! JAPAN による啓発

- ① Yahoo! JAPAN の独自企画として実施している「レッドリボンキャンペーン 2008」と連携し、「RED RIBBON LIVE 2008」(別項)の様子をオンデマンド配信する。
- ② Yahoo! JAPAN のサイト上に「レッドリボンオフィシャルチャンネル」を開設し、著名人のエイズ啓発に関するメッセージ映像やコメント等を掲載する。

### (Yahoo! JAPAN の概要)

会社名 ヤフー株式会社

市場名 東証1部、JASDAQ 銘柄コード: 4689

本社 東京都港区 設立年月日: 1996年1月31日

代表取締役 井上雅博

1ヶ月あたり約5,293万人のユニークカスタマー数※と、1日19億2000万ページビューのアクセスを誇るインターネットの総合情報サイトで、検索、コンテンツ、コミュニティーコマース、モバイルなど多くのサービスを提供しています。

(※) 2008年8月のNielsen Online「NetView AMS JP」における家庭からの視聴率88.5%、職場からの視聴率90.2%というデータをもとに、家庭、または職場からのインターネットユーザーを約5,975万人(Nielsen Online「インターネット基礎調査」より)としてYahoo! JAPANのユニークカスタマー数を算出。





公 開  
頭 撮 り 可

平成21年11月4日

照会先

健康局疾病対策課 木村・円谷・小澤

(電話) 03(5253)1111 [内2358]

財団法人エイズ予防財団 沢崎・堀内・川島

(電話) 03(5259)1811

## 世界エイズデーについて

### 1 世界エイズデーとは

WHO（世界保健機関）は、1988年に世界的レベルでのエイズまん延防止と患者・感染者に対する差別・偏見の解消を図ることを目的として、12月1日を“World AIDS Day”（世界エイズデー）と定め、エイズに関する啓発活動等の実施を提唱した。我が国としても、その趣旨に賛同し、毎年12月1日を中心にエイズに関する正しい知識等についての啓発活動を推進しており、全国各地で様々な「世界エイズデー」イベントが実施されている。

### 2 今年度の世界エイズデーキャンペーンテーマについて

#### (1) テーマ

Living Together ～いま、何をすれば良いのか聴かせて？～

#### (2) 選定の趣旨

様々なセクシャリティ（性行動の対象の選択や性に関連する行動・傾向）の人々や、HIV陽性の人々、陰性の人々が一緒に生きている現実をありのままに受け止め、エイズのまん延防止や差別・偏見の解消のために、ひとりひとりに何が出来るかを国民全体で考えていく。

### 3 実施主体及び実施方法

#### (1) 厚生労働省

(財)エイズ予防財団、エイズ関連NGO等の関係団体及び民間企業、報道機関等の協力を得て、全国的な啓発活動の推進を図る。

#### (2) 都道府県、保健所を設置する市及び特別区

関係機関及び関係団体等との連携を密にし、それぞれの地域の実情に応じた広報計画、実施計画に基づき、エイズに関する正しい知識の啓発活動を展開する。

### 3 厚生労働省が実施する主な事業

#### 【東京でのイベント等】

(1) RED RIBBON LIVE 2009 [11月28日(土) 17:30~21:00 予定]

SHIBUYA-AXにおいて、青木英季(Popteenモデル)、押尾コータロー、加藤鷹、玄秀盛(NPO法人日本ソーシャル・マイノリティ協会新宿救護センター所長)、小松成美(作家)、佐伯日菜子(女優)、鈴木奈々(Popteenモデル)、孫<sup>そんい</sup>暉(Popteenモデル)、椿姫彩菜(コメンテーター・モデル)、TKO、TERU(GLAY)(トークゲスト)、村尾信尚(NEWS ZERO メーンキャスター)などによる無料招待のライブ&トークを行い、若者を中心とした世代に予防啓発のメッセージを発信する。

(2) 街頭キャンペーン [11月28日(土) 13:00~15:00 予定]

渋谷駅周辺において、NGO、ボランティアと協力してエイズ予防啓発グッズを配布する。

(3) HIV(エイズ)無料検査 [11月28日(土) 11:00~17:30 予定]

シブヤ・ネクサスにおいて、NGOと協力してHIV無料検査を実施する。

#### 【大阪でのイベント等】

(1) RED RIBBON LIVE 2009 in OSAKA

[11月23日(月) 14:00~17:00 予定]

アメリカ村三角公園-御津公園において、大塚由美、カリヤ、safarii、BRIGHT、PENGIN、松下優也、RYTHEMなどによる入場無料のライブ&トークを行い、若者を中心とした世代に予防啓発のメッセージを発信する。

(2) 街頭キャンペーン [11月23日(月) 13:00~17:30 予定]

アメリカ村三角公園-御津公園周辺において、NGO、ボランティア、民間企業と協力してエイズ予防啓発グッズを配布する。

(3) HIV(エイズ)無料検査 [11月29日(日) 13:00~19:00 予定]

chotCASTなんばにおいて、NGOと協力して、通常より規模を拡大の上、HIV無料検査を実施する。

## 【その他の取組】

### (1) エイズ啓発ポスターの配布

青少年層に対して、HIV/エイズについて関心をもってもらい、また考えるきっかけにするため、小学生、中学生、高校生、一般の部門ごとに最優秀賞、優秀賞等を選出し、(財)エイズ予防財団において表彰式を行うとともに、RED RIBBON LIVE 2009 会場内において作品を掲示する。

また、ポスターコンクール最優秀賞の中から決定した普及啓発ポスターを、官公庁、地方公共団体、エイズ治療拠点病院、映画館等に掲示する。

### (2) インターネットによる啓発及び情報提供

- ① Yahoo! JAPAN の独自企画「レッドリボン特集 2009」と連携して、啓発活動をインターネット上で展開。RED RIBBON LIVE 2009 の動画は、後日 Yahoo! JAPAN や GyaO! などで配信
- ② 平成 21 年 4 月に開設した「レッドリボンライブ」オフィシャルサイト (<http://redribbonlive.jp/>) において、今回実施するイベント情報を含め、エイズ予防啓発に係る情報等を配信
- ③ (財)エイズ予防財団のホームページ(エイズ予防情報ネット)において、世界エイズデー前後に全国の自治体で実施されるイベントの紹介及び検査相談体制の案内を掲載
- ④ 各界で活躍する著名人たちが HIV 陽性者等の手記を朗読する模様をつづったウェブサイト「Living Together ~ Think about AIDS」(<http://www.thinkaboutaids.jp>) を新たに開設

### (3) 交通広告等の活用による啓発

京浜急行と連携し、電車内又は駅構内での広告やラッピング電車など、交通広告等を活用した啓発活動を展開する。

## RED RIBBON LIVE 2009 の実施について

- 1 主催  
厚生労働省
- 2 総合プロデュース・司会  
山本シュウ
- 3 出演者  
青木英李 (Popteen モデル)、押尾コータロー、加藤鷹、玄秀盛 (NP  
O 法人日本ソーシャル・マイノリティ協会新宿救護センター所長)、小松  
成美 (作家)、佐伯日菜子 (女優)、鈴木奈々 (Popteen モデル)、孫暉 (Popteen  
モデル)、椿姫彩菜 (コメンテーター・モデル)、TKO、TERU (G  
LAY) (トークゲスト)、村尾信尚 (NEWS ZERO メーンキャスター) な  
どの賛同者が多数参加 (50 音順)
- 4 実施内容  
ラジオ DJ 山本シュウの叫びに賛同したアーティスト、エンターテイナ  
ーたちが SHIBUYA-AX に集結。トークとライブで強烈なメッセージを発信。  
(1) 山本シュウ司会による TV タレント、ニュースキャスター、ミュー  
ジシャン、エイズ医療に関する専門家などによるトーク  
(2) 参加アーティストによるライブ  
(3) イベントの様子は後日、「レッドリボンライブ」オフィシャルサイ  
ト (<http://redribbonlive.jp/>)、Yahoo! JAPAN や GyaO! などにおい  
て動画配信 (予定)
- 5 開催日時  
平成 21 年 11 月 28 日 (土) 開場 16:30 開演 17:30~21:00 (予定)
- 6 開催場所  
SHIBUYA-AX (東京都渋谷区神南 2-1-1)
- 7 参加費  
無料 (抽選による招待制)
- 8 参加方法  
募集期間 11 月 5 日 (木) 12:00 ~ 11 月 19 日 (木) 12:00  
抽選で 500 名を招待  
告知サイト 「レッドリボンライブ」オフィシャルサイト  
<http://redribbonlive.jp/>

## RED RIBBON LIVE 2009 in OSAKA の実施について

- 1 主催  
厚生労働省
- 2 総合プロデュース・司会  
山本シュウ
- 3 出演者  
大塚由美、カリヤ、safarii、BRIGHT、PENGIN、  
松下優也、RYTHEMなどの賛同者が多数参加 (50音順)
- 4 実施内容  
ラジオDJ山本シュウの叫びに賛同したアーティストたちがアメリカ村三角公園に集結。トークとライブで強かにメッセージを発信し、大阪の若者たちに訴えかけていきます。  
(1) 山本シュウ司会によるミュージシャン、エイズ医療に関する専門家などによるトーク  
(2) 参加アーティストによるライブ
- 5 開催日時  
平成21年11月23日(月) 開演14:00~17:00(予定)
- 6 開催場所  
アメリカ村三角公園-御津公園  
(大阪府大阪市中央区西心斎橋2-11-34)
- 7 参加費  
無料

## 街頭キャンペーンの実施について

### 【東京】

- 1 日時  
平成21年11月28日（土）13:00～15:00（予定）
- 2 場所  
渋谷駅 ハチ公前周辺
- 3 参加団体  
厚生労働省、東京都、渋谷区、（財）エイズ予防財団、民間企業、NGO、学生ボランティア等
- 4 参加者数  
40名程度
- 5 実施内容  
（財）エイズ予防財団作成のパンフレット、コンドーム等をセットにして配布

### 【大阪】

- 1 日時  
平成21年11月23日（月）13:00～17:30（予定）
- 2 場所  
アメリカ村三角公園-御津公園周辺
- 3 参加団体  
厚生労働省、（財）エイズ予防財団、エフエム大阪、アメモラプレス、（株）ジェクス、NGO、学生ボランティア等
- 4 参加者数  
30名程度
- 5 実施内容  
（財）エイズ予防財団作成のパンフレット、コンドーム等をセットにして配布

## H I V (エイズ) 無料検査の実施について

### 【東京】

- 1 日時  
平成21年11月28日(土) 11:00~17:30 (受付は11:00~14:00)  
(予定)  
※検査は事前予約制とし、先着100名までとする。
- 2 場所  
シブヤ・ネクサス  
〔 東京都渋谷区道玄坂2-9-9 梅原ビル 〕  
〔 JR渋谷駅ハチ公口徒歩2分 〕
- 3 検査主体  
(財)エイズ予防財団、HIVと人権・情報センター、渋谷区保健所
- 4 検査の種類  
即日検査 (検査結果は当日お知らせします)
- 5 予約方法  
事前予約制  
〔 予約受付期間 11月4日(水) ~ 11月27日(金) 〕  
〔 予約受付時間 12:00~18:00 (月曜日から金曜日まで) 〕  
〔 電話番号 03-5259-0255 にご連絡の上、検査の時間等の予約を 〕  
〔 お願いします。 〕

### 【大阪】

- 1 日時  
平成21年11月29日(日) 13:00~19:00 (受付は13:00~16:00)  
(予定)  
※検査は先着順100名までとする (整理券を12:30より配布)。
- 2 場所  
c h o t C A S T なんば  
〔 大阪府大阪市浪速区難波中1-6-8 イチエイ総合ビル3階 〕  
〔 地下鉄御堂筋線なんば駅6番出口徒歩1分 (出口直結) 〕
- 3 検査主体  
(財)エイズ予防財団、HIVと人権・情報センター
- 4 検査の種類  
即日検査 (検査結果は当日お知らせします)

## インターネット等による啓発及び情報提供について

### 1 Yahoo! JAPANによる啓発

Yahoo! JAPANの独自企画として実施している「レッドリボン特集2009」と連携し、Yahoo! JAPAN内特設ページ等において、エイズ予防に関する啓発活動を展開する。RED RIBBON LIVE 2009は、後日Yahoo! JAPANやGyaO!などにて配信予定

(Yahoo! JAPANの概要)

会社名 ヤフー株式会社

市場名 東証1部、JASDAQ 銘柄コード: 4689

本社 東京都港区 設立年月日: 1996年1月31日

代表取締役 井上雅博

1ヶ月あたり約5,085万人のユニークカスタマー数※と、1日20億3000万ページビューのアクセスを誇るインターネットの総合情報サイトで、検索、コンテンツ、コミュニティ、コマース、モバイルなど多くのサービスを提供しています。

(※) Nielsen Online「NetView」、2009年9月、家庭もしくは職場からのアクセスによる。

### 2 「レッドリボンライブ」オフィシャルサイトによる啓発

平成21年4月に開設した「レッドリボンライブ」オフィシャルサイトにおいて、次のような情報発信を行う。

- ① 「RED RIBBON LIVE 2009」ほかレッドリボンライブに関する案内
- ② 「RED RIBBON LIVE 2009」の模様のオンデマンド配信(予定)
- ③ 著名人のエイズ啓発に関するメッセージやコメント等の掲載
- ④ その他HIV/エイズの予防啓発に関する情報の掲載

### 3 エイズ予防情報ネット

(財)エイズ予防財団のエイズ予防情報ネットにおいて、通常の予防啓発に関する情報に加えて、世界エイズデー前後の期間に全国の自治体で実施されるイベントやHIV検査・相談の実施体制等について情報提供を行う。

### 4 「Living Together ~ Think about AIDS」の開設

各界で活躍する著名人たちが、HIV陽性者とその家族・恋人たちによる手記を朗読する模様をつづったウェブサイト「Living Together ~ Think about AIDS」(<http://www.thinkaboutaids.jp>)を新たに開設し、ゲストたちの生の声に耳を傾けながら、HIV/エイズについて考える機会を提供する。



## 交通広告等の活用による啓発について

京浜急行と連携し、交通広告等を活用した啓発活動を次のとおり行う。

- 1 京浜急行線（8車両1編成）のイベント列車としての運行  
期間：11月29日（日）～12月13日（日）
  - ・車体ラッピング
  - ・車内での啓発ポスターの掲示
- 2 京浜急行線全車両・全駅での交通広告  
期間：11月30日（月）～12月13日（日）（予定）
  - ・京浜急行線全車両での啓発ポスターの中吊り
  - ・京浜急行線各駅での啓発ポスターの掲示
  - ・京浜急行線羽田空港駅内での啓発ポスターの集中的な掲示  
（11/30～12/7 予定）
- 3 京浜急行関連施設での啓発ポスターの掲示と冊子の設置（予定）

# AC（公共広告機構）による普及啓発

※ 社団法人ACジャパン（公共広告機構（AC）から平成21年7月1日に改称）ホームページより

## ○平成20（2008）年度

### 検査に行くということ

- ・テーマ「エイズ検査の促進」、支援団体：（財）エイズ予防財団
- ・広告会社：（株）アサツー ディ・ケイ、掲載メディア：テレビ/ラジオ/新聞/雑誌



2007年度キャンペーンで好評を博したGLAYのTERUさん出演の第二弾。実際にエイズ検査を受けるTERUさんの姿が、検査人数の増加につながりました。より踏み込んだメッセージで、エイズ検査のさらなる促進を呼びかけます。

## ○平成19（2007）年度

### TERU登場

- ・テーマ「エイズ検査の促進」、支援団体：エイズ予防財団
- ・広告会社：（株）アサツー ディ・ケイ、制作会社：（株）ピクチャーズ、掲載メディア：テレビ/ラジオ/新聞/雑誌/ポスター



エイズについての理解が深く、世界のエイズデーなどにも積極的に参加しているGLAYのTERUさんが出演。本人が検査に訪れた際のシーンを紹介しながら、「エイズは早期発見で発症を抑えられます」と検査を呼びかけます。

## ○平成18（2006）年度

### うしくんのエイズ検査体験レポート

- ・テーマ「エイズ検査の促進」、支援団体：財団法人エイズ予防財団、
- ・企画・制作：電通、掲載メディア：テレビ/ラジオ/新聞/雑誌/ポスター



若者のエイズへの関心は薄く、なかなか自分ごとと捉えられていません。また検査に足を運ぶのも重荷に感じています。デリケートな問題ですが、エイズ検査へのそんな抵抗感の中身を調べてみると、そこには意外と知られていないニュースがありました。それは、全国の保健所で匿名・無料で検査できるという情報です。そのニュースを、親しみを込めて伝え、足を運んでもらおうと考えたときうしくんを起用したアイデアが生まれました。

## ○平成17（2005）年度

### 見えない連鎖

- ・テーマ「エイズ検査の促進」、支援団体：エイズ予防財団
- ・企画・制作：大広大阪本社、掲載メディア：テレビ/ラジオ/新聞/雑誌/ポスター



近年、エイズ問題はあまり話題に上らないのですが、現実には、HIVは着実に広がり続けています。世界では過去20数年間に6,500万人以上が感染し、日本国内でも毎年1,000人近くの新たな感染者とエイズ患者が増えているそうです。と言われてまだ、自分は関係ないと思っている人に。自分や彼女から先の、過去の人間関係へと遡ってみると…エイズが俄に自分自身の問題に見えてくる…エイズへの再認識を促します。

# 第6回エイズに関する関係省庁間連絡会議

## 議 事 次 第

日時：平成21年4月27日

14:00～15:00

場所：厚生労働省共用第7会議室

### 1. 開 会

### 2. 議 事

- (1) 「エイズに関する関係省庁間連絡会議設置要綱」の改正について
- (2) 厚生労働省健康局疾病対策課におけるエイズ対策について
- (3) 各省庁におけるエイズ対策の取組状況について
- (4) 「HIV/AIDSの対策に関する東南アジア行政官会議」について

### 3. 閉 会

#### <配布資料>

- 資料1 エイズに関する関係省庁間連絡会議設置要綱 改正案
- 資料2 エイズに関する関係省庁間連絡会議設置要綱 新旧対照表
- 資料3 エイズ対策について
- 資料4 各省庁におけるエイズ施策の取組について
- 資料5 HIV/AIDSの対策に関する東南アジア行政官会議について

参考資料1 後天性免疫不全症候群に関する特定感染症予防指針

# 第6回エイズに関する関係省庁間連絡会議座席図

平成21年4月27日(月)  
14:00開会  
厚生労働省 共用第7会議室

速記

厚生労働省健康局  
疾病対策課主査

厚生労働省健康局  
疾病対策課長

厚生労働省健康局  
疾病対策課長補佐

東京大学医科学研究所  
教授 岩本愛吉

事務局

随行者席

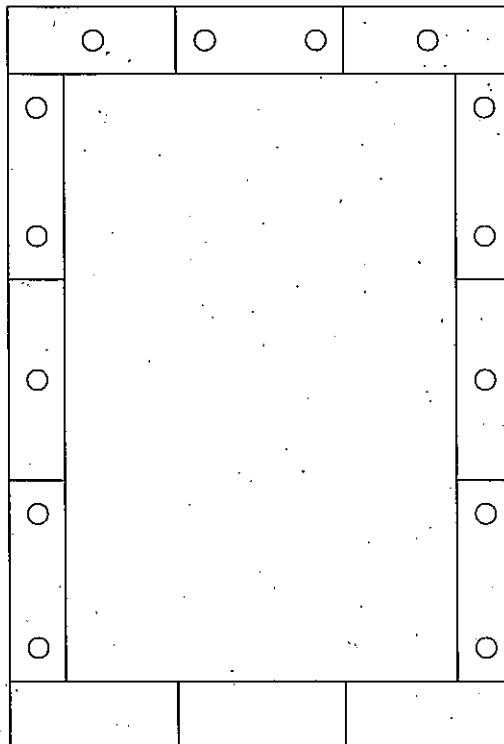
厚生労働省健康局  
結核感染症課長

厚生労働省医薬食品局  
総務課医薬品副作用  
被害対策室室長補佐

厚生労働省医薬食品局  
監視指導・麻薬  
対策課課長補佐

厚生労働省労働基準局  
安全衛生部労働衛生課長

厚生労働省職業安定局  
高齢・障害者雇用対策部  
障害者雇用対策課長



法務省矯正局  
成人矯正課課長補佐

法務省人権擁護局  
人権啓発課長

外務省国際協力局  
専門機関課長

文部科学省研究振興局  
研究振興戦略官付  
先端医科学研究企画官

文部科学省スポーツ・青  
少年局学校健康教育課長

随行者席

出入口

スクリーン

## 第6回エイズに関する関係省庁間連絡会議出席者名簿

### <構成員等>

所 属		職 名	氏 名	構 成	出 席
法務省	人権擁護局 人権啓発課	課長	浅井 琢児	構成員	○
外務省	国際協力局 専門機関課	課長	早川 修	構成員	
	国際協力局 専門機関課	課長補佐	小林 敏明	代理	○
文部科学省	研究振興局 研究振興戦略官	—	倉崎 高明	構成員	
	研究振興局 研究振興戦略官付	先端医科学研究企画官	永田 充生	代理	○
	スポーツ・青少年局 学校健康教育課	課長	松川 憲行	構成員	○
厚生労働省	健康局 疾病対策課	課長	岩崎 康孝	構成員	○
	健康局 疾病対策課	課長補佐	木村 幸司	事務局	○
	健康局 疾病対策課	主査	喜多 洋輔	事務局	○
	健康局 結核感染症課	課長	梅田 珠実	構成員	○
	医薬食品局 総務課 医薬品副作用被害対策室	室長	梶尾 雅宏	構成員	
	医薬食品局 総務課 医薬品副作用被害対策室	室長補佐	岡村 真一	代理	○
	医薬食品局 監視指導・麻薬対策課	課長	熊本 宣晴	構成員	
	医薬食品局 監視指導・麻薬対策課	課長補佐	安田 尚之	代理	○
	労働基準局 安全衛生部 労働衛生課	課長	鈴木 幸雄	構成員	○
	職業安定局 高齢・障害者雇用対策部 障害者雇用対策課	課長	吉永 和生	構成員	
職業安定局 高齢・障害者雇用対策部 障害者雇用対策課	地域就労支援 室長	藤井 礼一	代理	○	

### <オブザーバー>

所 属		職 名	氏 名	構 成	出 席
法務省	矯正局 成人矯正課	処遇第2・3係 補佐官	前澤 幸喜	—	○
東京大学医科学研究所		教授	岩本 愛吉	—	○

## エイズに関する関係省庁間連絡会議設置要綱

平成 12 年 12 月 11 日設置

平成 18 年 2 月 13 日改正

平成 18 年 6 月 12 日改正

平成 21 年 4 月 27 日改正

### 1 目的

我が国のエイズ患者、HIV感染者の発生が、依然として地域的にも年齢的にも広がりを見せている状況に鑑み、関係省庁間の協議の場を設定することで、より一層総合的かつ効果的なエイズ対策を推進することを目的とする。

### 2 根拠

後天性免疫不全症候群に関する特定感染症予防指針（平成18年3月2日告示第89号）第8（施策の評価及び関係機関との新たな連携）の1（施策の評価）に基づく。

### 3 協議事項

- (1) 国際的な連携に関する事
- (2) 人権の尊重に関する事
- (3) 普及啓発及び教育に関する事
- (4) 研究の情報交換に関する事
- (5) 性感染症対策等関連施策との連携に関する事
- (6) その他、省庁間における連携が必要な事項に関する事

### 4 連絡会議構成員

連絡会議の構成は、次のとおりとする。

- ・法務省人権擁護局人権啓発課長
- ・外務省国際協力局専門機関課長
- ・文部科学省研究振興局研究振興戦略官
- ・文部科学省スポーツ・青少年局学校健康教育課長
- ・厚生労働省健康局疾病対策課長
- ・厚生労働省健康局結核感染症課長
- ・厚生労働省医薬食品局総務課医薬品副作用被害対策室長
- ・厚生労働省医薬食品局監視指導・麻薬対策課長
- ・厚生労働省労働基準局安全衛生部労働衛生課長
- ・厚生労働省職業安定局高齢・障害者雇用対策部障害者雇用対策課長

上記構成員の他、協議の内容に応じて各構成員は、関係者の出席を求めることができる。

### 5 連絡会議議長

議長の職は、厚生労働省健康局疾病対策課長とする。

### 6 連絡会議の開催

会議は年1回を基本とする。ただし、緊急その他の必要が生じた場合、各構成員は、会議の開催を議長に要請することができる。議長は、この要請を受けたとき又は自らが必要と認めるときは、会議を開催するものとする。

### 7 その他

会議の開催その他の庶務は、厚生労働省健康局疾病対策課において処理する。

## 第3回重点都道府県等エイズ対策担当課長連絡協議会

平成20年4月22日(火) 14:00~17:00  
都道府県会館 101大会議室

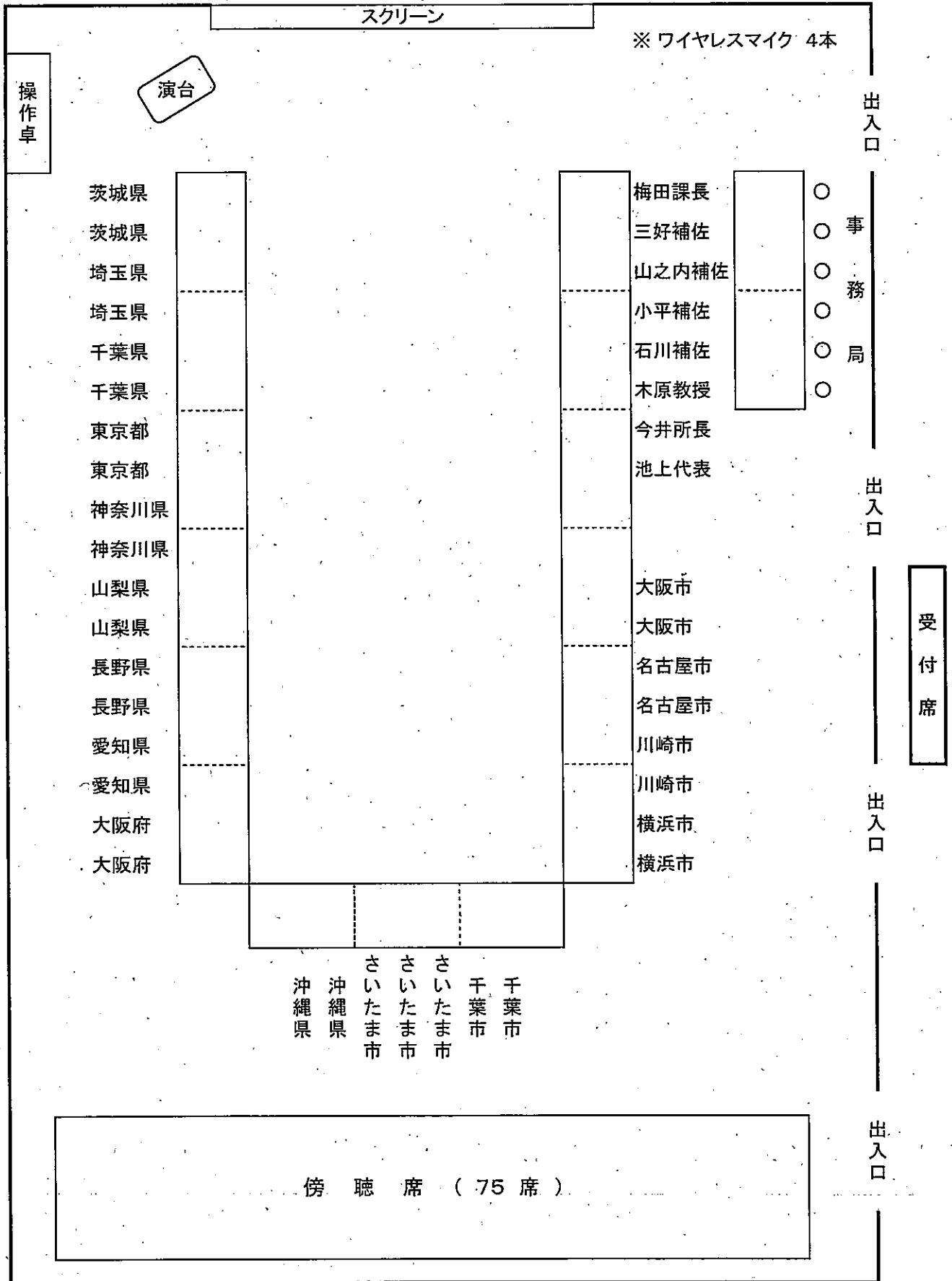
### 次 第

- 1 あいさつ  
厚生労働省健康局疾病対策課長 梅田珠実
- 2 地方公共団体に対するモニタリングの現状と効果  
厚生労働省健康局疾病対策課課長補佐 山之内芳雄
- 3 研究の視点からのモニタリングについて  
(1) 「エイズ施策評価のための指標の検討」  
京都大学大学院医学研究科教授 木原正博氏  
(2) 「検査体制の充実」  
神奈川県衛生研究所長 今井光信氏
- 4 「相談体制の充実」に向けた取り組み  
特定非営利活動法人ふれいす東京 代表 池上千寿子氏
- 5 地方公共団体の施策紹介  
さいたま市保健福祉局保健所地域保健課感染症予防係主査 苗村直美氏  
名古屋市健康福祉局健康部主幹(医務指導) 氏平高敏氏  
大阪府健康福祉部保健医療室地域保健感染症課課長補佐 河井茂美氏
- 6 平成20年度HIV検査普及週間について  
厚生労働省健康局疾病対策課課長補佐 三好英文

### 配布資料

- |       |   |
|-------|---|
| 資料1   | 地方公共団体に対するモニタリングの現状と効果                        |
| 資料2   | HIV流行の国際的文脈と日本のエイズ施策分析の試み                     |
| 資料3   | HIV検査体制の充実                                    |
| 資料4   | 日本のエイズ現状と課題 抗体検査と相談体制                         |
| 資料5-1 | さいたま市検査相談体制について 新規事業への取組                      |
| 資料5-2 | NLGR同性愛者向けエイズ啓発イベント及び無料HIV検査会について             |
| 資料5-3 | 「shot CAST なんば」の開設について                        |
| 資料6-1 | 平成20年度HIV検査普及週間について                           |
| 資料6-2 | 平成20年度HIV検査普及週間の活動計画                          |
| 資料6-3 | 平成20年度のHIV検査相談体制及びHIV検査普及週間の取り組みについて(重点都道府県等) |
| 資料6-4 | 平成20年度「HIV検査普及週間」実施要綱                         |

都道府県会館 101大会議室





### 第3回重点都道府県等エイズ対策担当課長連絡協議会 実施内容及びタイムスケジュール

時刻	予定時間	実施内容	講師等(敬称略)	実施場所
14:00	(05)	開会挨拶	厚生労働省健康局疾病対策課長 梅田 珠実	都道府県会館101 大会議室 (東京都千代田区 平河町2-6-3)
14:05	(20)	地方公共団体に対するモニタリングの現状と効果	厚生労働省健康局疾病対策課 課長補佐 山之内芳雄	
14:25		研究の視点からのモニタリングについて		
	(30)	エイズ施策評価のための指標の検討	京都大学大学院医学研究科 教授 木原正博	
14:55	(30)	検査体制の充実	神奈川県衛生研究所 所長 今井光信	
15:25	(15)	休憩		
15:40	(20)	「相談体制の充実」に向けた取り組み	特定非営利活動法人ふれいす東京 代表 池上千寿子	
16:00		地方公共団体の施策紹介		
	(10)	さいたま市	保健福祉局保健所地域保健課 感染症予防係主査 苗村直美	
16:10	(10)	名古屋市	健康福祉局健康部 主幹(医務指導) 氏平高敏	
16:20	(10)	大阪府	健康福祉部保健医療室地域保健感染症課課長補佐 河井茂美	
16:30	(15)	平成20年度HIV検査普及週間について	厚生労働省健康局疾病対策課 課長補佐 三好英文	
16:45		閉会		
		移動 都道府県会館 → コミュニティセンターakta		コミュニティ センターakta
18:00	(60)	現場見学及び講演	Rainbow Ring 張由紀夫 名古屋市立大学教授 市川誠一	(東京都新宿区 新宿2-15-13 第2中江ビル301)
19:00		akta視察終了		

#### aktaでの現場案内及び概要説明

- (1) akta内の案内
- (2) 概要説明
  - ・新宿二丁目におけるゲイ・コミュニティの現状
  - ・aktaの取り組みと成果

## 第4回重点都道府県等エイズ対策担当課長連絡協議会

平成21年10月30日(金) 13:30~16:30  
全国町村会館 ホール

### 次 第

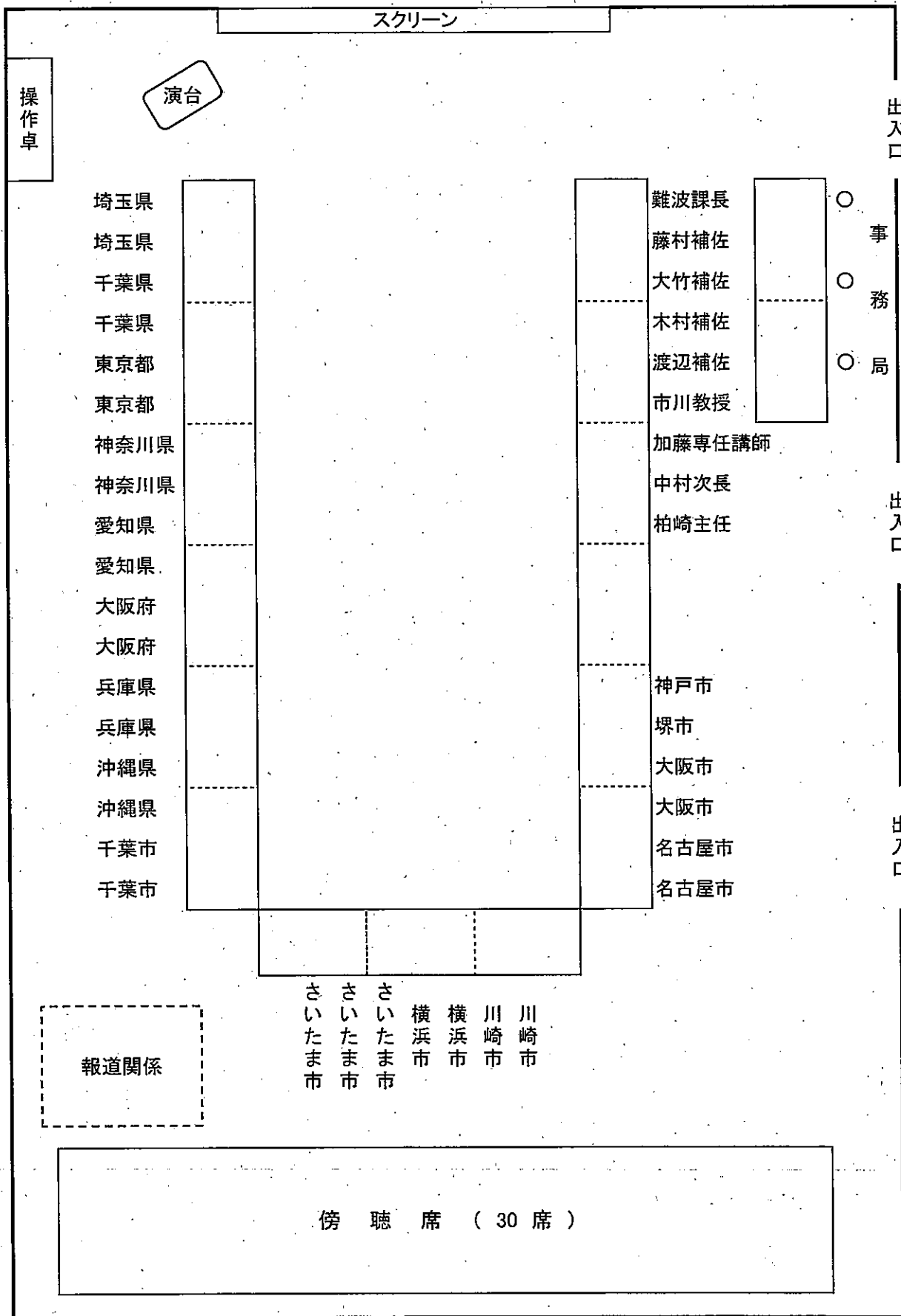
- 1 あいさつ  
厚生労働省健康局疾病対策課長 難波吉雄
- 2 エイズ対策の概要  
厚生労働省健康局疾病対策課課長補佐 渡辺顕一郎
- 3 男性同性間のH I V感染予防対策  
名古屋市立大学教授 市川誠一氏
- 4 H I V検査体制の充実  
慶應義塾大学専任講師 加藤真吾氏
- 5 エイズ予防財団の取組  
財団法人エイズ予防財団事務局次長 中村正氏  
財団法人エイズ予防財団総務部総務課主任 柏崎正雄氏
- 6 地方公共団体の施策紹介(横浜市)  
横浜市健康福祉局健康安全課長 修理淳氏
- 7 平成21年度世界エイズデーについて  
厚生労働省健康局疾病対策課課長補佐 木村幸司

### 配 布 資 料

- |       |                                   |
|-------|-----------------------------------|
| 資料1   | エイズ対策の概要                          |
| 資料2   | 男性同性間のH I V感染予防対策                 |
| 資料3   | H I V検査体制の充実                      |
| 資料4   | エイズ予防財団の取組                        |
| 資料5   | 横浜市のH I V検査について                   |
| 資料6-1 | 平成21年度世界エイズデーについて                 |
| 資料6-2 | 平成21年度世界エイズデーにおける取組等について(重点都道府県等) |
| 資料6-3 | 平成21年度「世界エイズデー」実施要綱               |

# 全国町村会館 ホール

受付席



## 第4回重点都道府県等エイズ対策担当課長連絡協議会 実施内容及びタイムスケジュール

時刻	予定時間	実施内容	講師等(敬称略)	実施場所
13:30	(05)	開会挨拶	厚生労働省健康局疾病対策課長 難波 吉雄	全国町村会館 ホール (東京都千代田区 永田町1-11-35)
13:35	(15)	エイズ対策の概要	厚生労働省健康局疾病対策課 課長補佐 渡辺顕一郎	
13:50	(45)	男性同性間のHIV感染予防対策	名古屋市立大学教授 市川誠一	
14:35	(15)	休憩		
14:50	(45)	HIV検査体制の充実	慶應義塾大学専任講師 加藤真吾	
15:35	(15)	エイズ予防財団の取組	財団法人エイズ予防財団 事務局次長 中村正 主任 柏崎正雄	
15:50	(10)	地方公共団体の施策紹介(横浜市)	横浜市	
16:00	(15)	平成21年度世界エイズデーについて	厚生労働省健康局疾病対策課 課長補佐 木村幸司	
16:15		閉会		
		移動 全国町村会館 → コミュニティセンターakta		コミュニティ センターakta
17:30	(60)	現場見学及び講演	Rainbow Ring 張由紀夫、荒木順子	(東京都新宿区 新宿2-15-13 第2中江ビル301)
18:30		akta視察終了		

### aktaでの現場案内及び概要説明

- (1) akta内の案内
- (2) 概要説明
  - ・新宿二丁目におけるゲイ・コミュニティの現状
  - ・aktaの取組と成果
  - ・aktaにおける今後の課題
  - ・自治体へのメッセージ

# **The Asian Administrators Meeting on HIV/AIDS**

## **Outline**

**Date:** March 18<sup>th</sup> – 19<sup>th</sup>, 2009

**Venue:** Kai Wah Plaza International, K  
Kunming, Yunnan  
People's Republic of China,

**Organizer :** Ministry of Health, Labour and Welfare, Japan

# Meeting Prospectus

February 16, 2009

Dear

The Asian Administrators Meeting on HIV/AIDS has been organized to contribute to the improvement of health and welfare by promoting the understanding on HIV/AIDS burden in each country and our region.

The 1<sup>st</sup> Administrators Meeting was held on the occasion of the 7<sup>th</sup> ICAAP (International Conference on AIDS in Asia and Pacific) where the representatives from ASEAN + 3 countries gathered in Kobe, Japan in 2005. At that meeting, representatives strongly voiced the need of continued discussions and exchanging opinions between Asian administrators, resulting in the meetings in Chiang Rai (Northern Thailand) in 2006 and in Phnom Penh (Cambodia) in 2008.

At those meetings, exchange of opinions and information sharing on legal frameworks of each participating country were actively done along with presentations and discussions on prevention and surveillance policies on HIV/AIDS. Through the discussion the participants renewed the recognition of the importance of the role of the policy makers and stronger effort for prevention, treatment and support for people living with HIV/AIDS.

This year's meeting is to be held in Kunming, Yunnan, the People's Republic of China. The meeting looks to examine the history of transmission of HIV/AIDS through substance abuse, study the present, and apply its implications into each country's domestic policies. In order to stimulate the discussion and networking, we will invite international organizations.

Recognizing the importance and significance of this meeting, we sincerely ask eager participations from the countries and organizations to the upcoming meeting in China.

Sincerely yours,

Hirozou Ueda, M.D.

Director General

Health Bureau

Ministry of Health, Labour and Welfare, Japan (MHLW)

## Tentative Agenda for ASEAN + 3 HIV/AIDS Administrators Meeting

March 18-19, 2009

Kai Wah Plaza International, Kunming,  
Yunnan, Peoples Republic of China

Venue:

Objective:

1. Update information on the HIV/AIDS epidemic and response in ASEAN + 3
2. HIV/AIDS and substance abuse
3. Regional and International networking

Day 1: March 18, 2009

08:30 – 09:00 Registration

Chair: Dr. Fabio Mesquita, WHO

Dr. Aikichi Iwamoto, University of Tokyo

09:00 – 09:15 Opening remarks

1. Dr. Lu Lin (To Be Confirmed) Director, Yunnan CDC, MOH, China
2. Mr. Hidefumi Miyoshi Deputy Director, Special Disease Division  
MHLW, Japan

09:15 – 09:20 Introduction of participants

09:20 – 10:20 Overview on HIV/AIDS and substance abuse

09:20-09:50 Dr. Fabio Mesquita, WHO/WPRO

“General principles to manage HIV epidemic among people who inject drugs”

09:50-10:20 Dr. Masami Fujita, WHO/Viet Nam

“IDUs and HIV/AIDS in Asia: Overview (TBC)”

10:20 – 10:40 Coffee/Tea break

Chair: Dr. Chansy Phimpachanh, AIDS Bureau, Lao PDR

Mr. Ron MacInnis, IAS

10:40 – 12:40 Country Report-1

(30 min talk, 10 min Q&A: include a quick overview of HIV/AIDS in the country and then a focused presentation on each topic)

10:40-11:20 Dr. Chhivun Mean, NCHADS, Cambodia

“HIV surveillance among drug user including IDU in Cambodia”

11:20-12:00 Dr. Duo Lin, Yunnan CDC, China

- “Harm reduction among IDU in China”
- 12:00-12:40 Ms. Minh Tam Nguyen, VAAC, Viet Nam  
 “The Law on HIV/AIDS in Viet Nam and the authorization for Harm Reduction”
- 12:40 – 12:45 Group Photo
- 12:45 – 13:40 Lunch
- Chair: Dr. Masami Fujita, WHO/Viet Nam  
 Dr. Myung-Hwan Chó, ASAP
- 13:40 – 15:40 Country Report-2  
 (30 min talk, 10 min Q&A: include a quick overview of HIV/AIDS in the country and then a focused presentation on each topic)
- 13:40-14:20 Dr. Rushidi Ramly, MHM, Malaysia  
 “The Millennium Goals as a background for the response to HIV/AIDS epidemics on IDUs (TBC)”
- 14:20-15:00 Prof. Yi-Ming Arthur Chen, NYMU, Taiwan  
 “Epidemiology of HIV infection and evaluation of Harm Reduction Program in Taiwan”
- 15:00-15:40 Dr. Chansy Phimphachanh, AIDS Bureau, Lao PDR  
 “HIV/AIDS situation in Lao PDR”
- 15:40 – 16:00 Coffee/Tea break
- Chair: Dr. Chhivun Mean, NCHADS, Cambodia  
 Dr. Huanliang Liu, Sun Yat-sen University
- 16:00 – 17:30 Country Report-3  
 (20 min talk, 10 min Q&A: include a quick overview of HIV/AIDS in the country and then a focused presentation on each topic)
- 16:00-16:30 Mr. Alex Duke, Thailand  
 “The global fund and harm reduction in Thailand”
- 16:30-17:00 Dr. Jose Gerard Belimac, SLH, Phillipines  
 “Community-based HIV prevention services among IDUs in Phillipines”
- 17:00-17:30 Dr. Yosuke Kita, DR. Yuriko Yanaga & Mr. Masao Kashiwazaki  
 “HIV/AIDS situation in Japan and Drug Addiction Rehabilitation Center (DARC)”
- Chair: Dr. Hong Li, Yunnan CDC, China  
 Dr. Yosuke Kita, MHLW, Japan
- 17:30 – 18:00 Global issues of HIV/AIDS and substance abuse
- 17:30-18:00 Mr. Ron MacInnis, IAS



“Discussions on programming HIV services for injecting drug users – analysis of challenges in other regions”

18:30 – Dinner sponsored by MHLW, Japan

**Day 2: March 19, 2009**

09:00 – 12:00

Site visit: Yunnan CDC, affiliated hospitals and prevention service centers, etc.

Introduction about Yunnan CDC and the HIV epidemic in Yunnan by Dr. Lu Lin

**Chair: Dr. Fabio Mesquita, WHO**

**Dr. Aikichi Iwamoto, University of Tokyo**

14:00 – 16:00 **Regional and Global networking**

14:00-14:20 **Mr. Ron MacInnis, IAS**

“Future possibilities of IAS conferences in the Asia/Pacific Region”

14:20-14:40 **Prof. Myung-Hwan Cho, ASAP**

“Role of the ICAAP in the region and welcoming to ICAAP2009 in Bali”

14:40-16:00 **Round table discussion for future meetings and networking**

18:00 – 21:00 **Dinner**

## Provisional List of Participants

### 1. Delegates Cambodia

Dr. Chhivun Mean  
Director, The National Center for HIV/AIDS,  
Dermatology and STD, MINISTRY OF HEALTH  
#34, St 338, Khann Chamkarmon, Phnom Penh  
Tel: (855) 16 830 241  
Fax: (855) 23 883 402  
Email: [mchhivun@nchads.org](mailto:mchhivun@nchads.org)

### China

Dr. Lu Lin (TBC)  
Director, Yunnan CDC

Dr. Duo Lin  
Director, Yunnan CDC

Dr. Hong Li,  
Professor, Department of Research and Education,  
Yunnan CDC  
Tel:  
Fax:  
Email: [lihongkmyn.cn@yahoo.com.cn](mailto:lihongkmyn.cn@yahoo.com.cn)

Dr. Huanliang Liu  
Professor, Sun Yat-sen University  
Tel:  
Fax:  
E-mail: [huanliang.liu@gmail.com](mailto:huanliang.liu@gmail.com)

### Korea

Prof. Myung Hwan Cho  
Professor  
Department of Life Sciences  
College of Science  
Konkuk University  
Seoul 143-701, Korea  
Tel: +82.11.259.5656  
Fax: +82-2-3436-5432  
[mcho@konkuk.ac.kr](mailto:mcho@konkuk.ac.kr)  
President, AIDS Society of Asia and the Pacific

### Lao PDR

Dr. Chansy Phimpachanh  
MD, MPH Director  
Center for HIV/AIDS/STI, Ministry of Health  
Km 3 Thadeua Road, Sisattanak District, Vientiane  
Tel: (856) 21 315500  
Fax: (856) 21 315127  
Email: [gfachas.chansy@gmail.com](mailto:gfachas.chansy@gmail.com) or

**Malaysia**

Dr. Rushidi Ramly  
Senior Principal Assistant Director  
Head of Substance Abuse Unit  
Non-communicable Disease Section  
Disease Control Division  
Ministry of Health Malaysia  
Level 6, Block E10, Complex E  
62590 Putrajaya, Malaysia  
Tel: 603-8883 4125; 6012 283 3304  
Fax: 603 8888 6277  
E-mail: rusdi@dph.gov.my  
suaibahjaafar@yahoo.com

**Philippines**

Dr. Jose Gerard Belimac  
Program Manager  
National AIDS STI Prevention and Control Program  
Infectious Diseases Office, Bldg. 13, Department of Health  
Sta. Cruz, Manila, Philippines  
Tel: +63(2)-743-8391 loc (2350-2352)  
Fax: +63(2)-743-8391 loc (2352)  
E-mail: naspcp@yahoo.com

**Taiwan**

Prof. Yi-Ming Arthur Chen  
AIDS Prevention and Research Center  
National Yang-Ming University  
155, Sec.2. Linong Street, Taipei, 112 Taiwan (ROC)  
Tel: +886-2-2826-7193  
Fax: +886-2-2827-0576  
arthur@ym.edu.tw

**Thailand**

Mr. Alexander Duke  
Senior Program Officer  
Population Services International (PSI)  
PSI Thailand, 3rd Floor, Vanissa Building,  
29 Ploenchit Road, Bangkok, 10330, Thailand  
Tel: (66) 02-655-4001  
Fax: (66) 02-655-4665  
alexmduke@psiasia.org

**Viet Nam**

Dr. Minh Tam Nguyen  
Deputy Head of Harm Reduction Department  
Vietnam Administration of HIV/AIDS Control  
VAAC 135/3 Nui Truc, Ba Dinh, Hanoi, Vietnam  
+84.989.997.234  
+84-4-38465732  
minhtam71@yahoo.com

Japan

Mr. Hidefumi Miyoshi  
Deputy Director,  
Special Disease Division, MHLW  
TEL: +81-3-3595-2249  
FAX: +81-3-3593-6223  
E-mail: [miyoshi-hidefumi@mhlw.go.jp](mailto:miyoshi-hidefumi@mhlw.go.jp)

Dr. Yosuke Kita  
Deputy Director,  
Special Disease Division, MHLW  
TEL: +81-3-3595-2249  
FAX: +81-3-3593-6223  
E-mail: [kita-yosuke@mhlw.go.jp](mailto:kita-yosuke@mhlw.go.jp)

Mr. Tomohiro Shimora  
Deputy Director,  
Special Disease Division, MHLW  
TEL: +81-3-3595-2249  
FAX: +81-3-3593-6223  
E-mail: [shimora-tomohiro@mhlw.go.jp](mailto:shimora-tomohiro@mhlw.go.jp)

2. WHO (WPRO)

Dr. Fabio Mesquita  
Technical Officer in Harm Reduction,  
World Health Organization,  
Regional Office for the Western Pacific  
United Nations Avenue  
P.O. Box 2932 1000 Manila, Philippines  
Tel: (632) 528 9759  
Fax: (632) 521 1036  
E-mail: [Mesquita@wpro.who.int](mailto:Mesquita@wpro.who.int)

WHO/ Viet Nam

Dr. Masami Fujita  
Senior Advisor, HIV/AIDS  
WHO Viet Nam  
63 Tran Hung Dao Street  
Hoan Kiem District  
Hanoi, Viet Nam  
Tel: +84-4-3943-3734/5/6  
Fax: +84-4-3943-3740  
E-mail: [fujitam@wpro.who.int](mailto:fujitam@wpro.who.int)

3. IAS

Mr. Ronald MacInnis  
Director, Policy and Programmes  
The International AIDS Society  
International AIDS Society HQ  
Ave. Louis Casai 71  
PO Box 28, CH - 1216 Cointrin  
GENEVA, Switzerland  
Tel: +41-(0)22-7 100 800  
Fax: +41-(0)22-7 100 899  
E-mail: ron.macinnis@iasociety.org

4. University of Tokyo

Dr. Aikichi Iwamoto  
Professor, Division of Infectious Diseases  
Advanced Clinical Research Center  
The Institute of Medical Science  
The University of Tokyo  
4-6-1 Shirokanedai, Minato-ku, Tokyo 108-8639  
Tel: +81-3-5449-5359  
Fax: +81-3-6409-2008  
E-mail: [aikichi@ims.u-tokyo.ac.jp](mailto:aikichi@ims.u-tokyo.ac.jp)  
[aikichi@ra3.so-net.ne.jp](mailto:aikichi@ra3.so-net.ne.jp)

Ms. Mitsue Hayashi  
Professor, Research Center for Asian Infectious Diseases  
The Institute of Medical Science  
The University of Tokyo  
Tel: +81-3-5449-5359  
Fax: +81-3-6409-2008  
E-mail: mit.hayashi@gmail.com

5. JFAP

Dr. Yuriko Yanaga  
Chief, Research, Training Division  
Japan Foundation for AIDS Prevention  
E-mail: yanaga@jfap.or.jp

Mr. Masao Kashiwazaki  
Chief, Public Relations Division,  
Program Operation Department  
Japan Foundation for AIDS Prevention  
TEL : +81-3-5259-1811  
FAX : +81-3-5259-1812  
E-mail : kashiwazaki@jfap.or.jp

6. Logistics

Mr. Hideyuki Kanno  
Convention Linkage Inc.  
3F, Sanban-cho KS-Building, 2 Sanban-cho Chiyoda-ku,  
Tokyo 102-0075, Japan  
TEL: +81-3-3263-8686  
FAX: +81-3-3263-8687  
E-mail: kanno@c-linkage.co.jp

Mr. Eric Gibbs  
Convention Linkage Inc.  
3F, Sanban-cho KS-Building, 2 Sanban-cho Chiyoda-ku,  
Tokyo 102-0075, Japan  
TEL: +81-3-3263-8686  
FAX: +81-3-3263-8687  
E-mail: gibbs@c-linkage.co.jp

Ms. Junko Fujiwara  
Convention Linkage Inc.  
3F, Sanban-cho KS-Building, 2 Sanban-cho Chiyoda-ku,  
Tokyo 102-0075, Japan  
TEL: +81-3-3263-8686  
FAX: +81-3-3263-8687  
E-mail: cl@c-linkage.co.jp

# The Asian Administrators Meeting on HIV/AIDS

## Outline

**Date:** February 4<sup>th</sup> – 5<sup>th</sup>, 2010

**Venue:** Mita Kyoyo Kaigisho  
2-1-8 Mita, Minato-ku, Tokyo  
108-0073 Japan

**Organizer :** Ministry of Health, Labour and Welfare, Japan

# Meeting Prospectus

January 25th, 2010

Dear

The Asian Administrators Meeting on HIV/AIDS has been organized to contribute to the improvement of health and welfare by promoting the understanding on HIV/AIDS burden in each country and our region.

The 1<sup>st</sup> Administrators Meeting was held on the occasion of the 7<sup>th</sup> ICAAP (International Conference on AIDS in Asia and Pacific) where the representatives from ASEAN + 3 countries gathered in Kobe, Japan in 2005. At that meeting, representatives strongly voiced the need of continued discussions and exchanging opinions between Asian administrators, resulting in the meetings in Chiang Rai (Northern Thailand) in 2006, in Phnom Penh (Cambodia) in 2008 and in Kunming (China) in 2009.

At those meetings, exchange of opinions and information sharing on legal frameworks of each participating country were actively done along with presentations and discussions on prevention and surveillance policies on HIV/AIDS. Through the discussion the participants renewed the recognition of the importance of the role of the policy makers and stronger effort for prevention, treatment and support for people living with HIV/AIDS.

This year's meeting is to be held in Tokyo, Japan. The meeting will focus on the transmission of HIV/AIDS among men who have sex with men (MSM). MSM are the hardest-hit population in Japan and the epidemic is growing in many areas in Asia. We wish to exchange the present information and what has been and what is going to be done in the future in each country. In order to stimulate the discussion and networking, we will invite international organizations.

Recognizing the importance and significance of this meeting, we sincerely ask eager participations from the countries and organizations to the upcoming meeting in Tokyo.

Sincerely yours,

Hirozo Ueda, M.D.

Director General

Health Service Bureau

Ministry of Health, Labour and Welfare, Japan (MHLW)



**Agenda for Asian HIV/AIDS Administrators Meeting**  
**February 4th, 2010**

Venue: Mita Kyoyo Kaigisho. 2-1-8 Mita, Minato-ku, Tokyo, 108-0073 Japan.

**Objective:**

1. Update information on the HIV/AIDS epidemic, especially among MSM in Asia
2. Current and future plans to fight against HIV/AIDS in Asia
3. Promotion of human rights/fight against stigma and discrimination

**Feb 4th, 2010**

09:00-09:15     Registration

09:15 – 10:35    Opening Session

**Chair:** Dr. Elly Katabira, International AIDS Society, Uganda

Dr. Kenichiro Watanabe, MHLW

09:15 – 09:30    Opening remarks

Dr. Yoshio Namba Director, Specific Disease Division, MHLW, Japan

09:30 – 09:35    Introduction of participants

09:35 – 10:05

Dr. Frits, Godefridus van Griensven, Thailand MOPH-US CDC Collaboration

"Trends in HIV Prevalence, Estimated HIV Incidence, and Risk Behavior Among Men Who Have Sex With Men in Bangkok, Thailand, 2003–2007"

10:05 – 10:35

Dr. Fabio Mesquita, WHO/WPRO

" Priority HIV and sexual health interventions in the health sector for men who have sex with men and transgender people in the Asia Pacific-Region"

10:35 – 10:50    Coffee/Tea break

10:50 – 12:20    Country Reports - 1

**Chair:** Dr. Pedro Cahn, International AIDS Society, Argentina

Dr. Masayoshi Tarui, Keio University, Japan

10:50 – 11:05

Dr. Vonthanak Saphonn

"HIV epidemic in Cambodia"

11:05 – 11:20

**Dr. Jose Gerard Buot Belimac**

"HIV epidemic in Philippines"

11:20 – 11:35

**Dr. Yurong Mao**

"HIV epidemic in China"

11:35 – 11:50

**Dr. Dyah Erti Mustikawati**

"HIV epidemic in Indonesia"

11:50 – 12:05

**Dr. Najmus Sahar Sadiq**

"HIV epidemic in Bangladesh"

12:05 – 12:20

**Dr. Myung-Hwan Cho**

"HIV epidemic in Korea"

12:20 – 12:30 Group Photo

12:30 – 13:30 Lunch

13:30 – 15:15 Country Reports - 2

(10 min talk, 5 min Q&A: include a quick overview of HIV/AIDS in the country and then a focused presentation on MSM)

**Chair: Dr. Myung-Hwan Cho, AIDS Society of Asia and the Pacific, Korea**

**Dr. Frits, Godefridus van Griensven, Thailand MOPH-US CDC Collaboration**

13:30 – 13:45

**Dr. Shaari Bin Ngadiman**

"HIV epidemic in Malaysia"

13:45 – 14:00

**Dr. Nguyen Thi Minh Tam**

"HIV epidemic in Viet Nam"

14:00 – 14:30

**Dr. Kenichiro Watanabe/Mr. Yasushi Sawazaki**

"HIV/AIDS Epidemic and Overview of MSM Programs in Japan"

14:30 – 15:15

**Mr. Yuzuru Ikushima/Mr. Yukio Cho/Ms. Noriyo Kaneko Dr. Yasuharu Hidaka**

"A strategy for prevention and care: Living Together"

15:15 – 15:30 Coffee/Tea break

15:30 – 17:30 Round table discussion

**Chair: Dr. Fabio Mesquita, WHO/WPRO**

**Dr. Aikichi Iwamoto, University of Tokyo**

15:30 – 15:40

**Dr. Dyah Erti Mustikawati**

"Initiating the discussion on the next steps in the confrontation of the HIV/AIDS Epidemic among MSM in Asia"

15:40 – 17:20

**Discussion**

17:20 – 17:30

**Dr. Fabio Mesquita**

"Conclusion and recommendation of the meeting"

17:30 – 17:40 **Dr. Myung-Hwan Cho**

"Welcome to the 10th ICAAP in Busan in 2011"

17:40 – 17:50 **Dr. Elly Katabira**

"Welcome to the Internartional AIDS Conference in Vienna in 2010"

18:00 – 20:30 **Dinner**

Ministry of Health, Labour and Welfare, Japan  
Asian Administrators' Meeting

February 4th, 2010  
Mita Kyoyo Kaigisho, Tokyo, Japan

1. Delegates

Bangladesh

Dr. Najmus Sahar Sadiq  
Chairperson  
AIDSWATCH  
E-mail: sadiq.najmus@gmail.com  
najmus.sadiq@yahoo.com

China

Dr. Yurong Mao  
Acting Director  
Division of Integration and Evaluation, National Center  
for AIDS/STD Control and Prevention,  
Chinese Center for Disease Control and Prevention  
Tel: +86-10-63132150  
Fax: +86-10-63132151  
E-mail: zoemao@gmail.com  
yrmao@hotmail.com

Indonesia

Dr. Dyah Erti Mustikawati  
Head of Sub-Directorate of AIDS & STI,  
National AIDS & STI Program Manager Health Sector  
Directorate General of Disease Control and  
Environmental Health  
Ministry of Health  
Republic of Indonesia  
Jln. Percetakan Negara No. 29,  
3rd Floor, B Building, Jakarta  
Tel: +62 21 424 7608  
Fax: +62 21 420 7807  
E-mail: dmustika\_2007@yahoo.co.id  
dmustika@indosat.net.id

Japan

Mr. Yuzuru Ikushima  
Director/Social Worker  
PLACE TOKYO  
4-22-46-204 Takadanobaba, Shinjuku-ku, Tokyo  
169-0075 Japan  
TEL : +81 (0)3-3361-8964  
FAX : +81 (0)3-3361-8835  
E-mail: ikushima@ptokyo.com  
ixymama@gmail.com

Mr. Yukio Cho  
Director/community center akta  
Rainbow Ring  
E-mail: melodias1969@gmail.com

Dr. Noriyo Kaneko  
Assistant Professor  
Nagoya City University  
Graduate School of Nursing

Department of Communicable Disease  
Epidemiology & Control  
Mizuho-cho, Mizuho-ku Nagoya 467-8601, Japan  
TEL: +81-52-853-8065  
E-mail: noriyok@med.nagoya-cu.ac.jp

Ms. Jane Koerner  
Nagoya City University  
Research Associate  
Graduate School of Nursing  
Department of Communicable Disease Epidemiology &  
Control  
Mizuho-cho, Mizuho-ku Nagoya 467-8601, Japan  
TEL/FAX: +81-52-853-8032  
E-mail: koerner@med.nagoya-cu.ac.jp

Dr. Yasushi Sawazaki  
Director, Program Operation Section  
Japan Foundation for AIDS Prevention (JFAP)  
Suidobashi Bldg. 5F, Misakicho 1-3-12, Chiyoda-ku,  
Tokyo 101-0061, Japan  
Tel: +81-3-5259-1811  
Fax: +81-3-5259-1812  
E-mail: sawazaki@jfap.or.jp

Korea

Dr. Myung Hwan Cho  
Professor  
Department of Life Sciences  
College of Science  
Konkuk University  
Seoul 143-701, Korea  
Tel: +82-11-259-5656  
Fax: +82-2-3436-5432  
[mcho@konkuk.ac.kr](mailto:mcho@konkuk.ac.kr)  
Co-Chair, 10th ICAAP  
Immediate-Past President, AIDS Society of Asia and the  
Pacific (ASAP)

Malaysia

Dr. Shaari Bin Ngadiman,  
Deputy Director of Disease Control (AIDS/STD)  
Ministry of Health Malaysia  
Federal Government Administration Center  
62590 Putrajaya, Malaysia  
Tel: 603 8883 4271  
Fax: 603 8883 4285  
E-mail: drshaari@moh.gov.my

Philippines

Dr. Jose Gerard Buot Belimac  
Program Manager, National AIDS and STI Prevention  
and Control  
National Center for Disease Prevention and Control –  
Department of Health  
Bldg. 14, Department of Health  
Sta. Cruz, Manila, Philippines  
Tel: 63(2)-743-8391 local (2350)  
Fax: 63(2)-732 9966  
E-mail: naspcp@yahoo.com  
[naspcp@co.doh.gov.ph](mailto:naspcp@co.doh.gov.ph)

- Thailand  
 Dr. Godefridus van Griensven  
 Chief, Behavioral Research Section  
 Thailand MOPH-US CDC Collaboration  
 E-mail: fav1@th.cdc.gov
- Dr. Jan Willem de Lind van Wijngaarden  
 E-mail: jwdlvw@gmail.com
- Viet Nam  
 Dr. Nguyen Thi Minh Tam  
 Vice Head of Harm Reduction Department  
 Vietnam Administration of HIV/AIDS Control  
 E-mail: mmchilys@gmail.com
2. International representatives  
 TREAT Asia, amfAR To be confirmed
3. WHO (WPRO)  
 Dr. Fabio Mesquita  
 Technical Officer in Harm Reduction,  
 World Health Organization,  
 Regional Office for the Western Pacific  
 United Nations Avenue  
 P.O. Box 2932 1000 Manila, Philippines  
 Tel: (632) 528 9759  
 Fax: (632) 521 1036  
 E-mail: [Mesquitaf@wpro.who.int](mailto:Mesquitaf@wpro.who.int)
- WHO/ Viet Nam  
 Dr. Masami Fujita  
 Senior Advisor, HIV/AIDS  
 WHO Viet Nam  
 63 Tran Hung Dao Street  
 Hoan Kiem District  
 Hanoi, Viet Nam  
 Tel: +84-4-3943-3734/5/6  
 Fax: +84-4-3943-3740  
 E-mail: [fujitam@wpro.who.int](mailto:fujitam@wpro.who.int)
3. University of Tokyo  
 Dr. Aikichi Iwamoto  
 Professor, Division of Infectious Diseases  
 Advanced Clinical Research Center  
 The Institute of Medical Science  
 The University of Tokyo  
 4-6-1 Shirokanedai, Minato-ku, Tokyo 108-8639  
 Tel: 81-(0)3-5449-5359  
 Fax: 81-(0)3-6409-2008  
 E-mail: [aikichi@ims.u-tokyo.ac.jp](mailto:aikichi@ims.u-tokyo.ac.jp)  
[aikichi@ra3.so-net.ne.jp](mailto:aikichi@ra3.so-net.ne.jp)
4. Ministry of Health, Labour and Welfare  
 Dr. Yoshio Namba  
 Director, Specific Disease Division  
 Health Service Bureau  
 Ministry of Health, Labour and Welfare, Japan.  
 Tel: 81-(0)3-3595-2249  
 Fax: 81-(0)3-3593-6223  
 E-mail: [namba-yoshio@mhlw.go.jp](mailto:namba-yoshio@mhlw.go.jp)

Dr. Teruo Otake  
Deputy Director, Specific Disease Division  
Health Service Bureau  
Ministry of Health, Labour and Welfare, Japan.  
Tel: 81-(0)3-3595-2249  
Fax: 81-(0)3-3593-6223  
E-mail: ootake-teruo@mhlw.go.jp

Mr. Koji Kimura  
Deputy Director, Specific Disease Division  
Health Service Bureau  
Ministry of Health, Labour and Welfare, Japan.  
Tel: 81-(0)3-3595-2249  
Fax: 81-(0)3-3593-6223  
E-mail: kimura-koujikk@mhlw.go.jp

Dr. Kenichiro Watanabe  
Deputy Director, Specific Disease Division  
Health Service Bureau  
Ministry of Health, Labour and Welfare, Japan.  
Tel: 81-(0)3-3595-2249  
Fax: 81-(0)3-3593-6223  
E-mail: watanabe-kenichiro@mhlw.go.jp

Ms. Kanae Konishi  
Deputy Director, Specific Disease Division  
Health Service Bureau  
Ministry of Health, Labour and Welfare, Japan.  
Tel: 81-(0)3-3595-2249  
Fax: 81-(0)3-3595-6223  
E-mail: konishi-kanae@mhlw.go.jp

Mr. Takafumi Tsumuraya  
Officer, Specific Disease Division  
Health Service Bureau  
Ministry of Health, Labour and Welfare, Japan.  
Tel: 81-(0)3-3595-2249  
Fax: 81-(0)3-3593-6223  
tsumuraya-takafumi@mhlw.go.jp

Mr. Tomohisa Shiono  
Officer, Specific Disease Division  
Health Service Bureau  
Ministry of Health, Labour and Welfare, Japan.  
Tel: 81-(0)3-3595-2249  
Fax: 81-(0)3-3593-6223  
E-mail: shiono-tomohisa@mhlw.go.jp

Mr. Tsunehiro Ozawa  
Officer, Specific Disease Division  
Health Service Bureau  
Ministry of Health, Labour and Welfare, Japan.  
Tel: 81-(0)3-3595-2249  
Fax: 81-(0)3-3593-6223  
ozawa-tsunehiro@mhlw.go.jp

5. Observers  
Cambodia

Dr. Vonthanak Saphonn (Presenter)  
Chief, Research Unit  
National Center for HIV/AIDS Dermatology and STI  
N° 2, Kim YI Sung Blvd, Khan Tuol Kork,  
P. O. Box 1300, Phnom Penh, Cambodia  
Tel: (855) 12 280 790  
Fax: (855) 23 881 949  
E-mail: research03@nchads.org  
vsaphonn@yahoo.com

IAS  
(International AIDS Society)

Dr. Elly Katabira  
President-elect  
Professor of Medicine  
Makelele University Uganda  
E-mail: katabira@imul.com  
katabira@infocom.co.ug

Dr. Pedro Cahn  
Immediate Past President  
Republica Argentina  
E-mail: pcahn@huesped.org.ar

Japan

Dr. Masayoshi Tarui  
Professor, Keio University  
E-mail: tarui@flet.keio.ac.jp

Dr. Seiichi Ichikawa  
Professor  
Nagoya City University  
Graduate School of Nursing  
Department of Communicable Disease Epidemiology &  
Control  
Mizuho-cho, Mizuho-ku Nagoya 467-8601, Japan  
TEL/FAX: +81-52-853-8089  
E-mail: yaichisei@ybb.ne.jp

Mr. Masao Kashiwazaki  
Chief, General Affairs Section  
Japan Foundation for AIDS Prevention (JFAP)  
Suidobashi Bldg. 5F, Misakicho 1-3-12, Chiyoda-ku,  
Tokyo 101-0061, Japan  
TEL : +81-3-5259-1811  
FAX : +81-3-5259-1812  
E-mail : kashiwazaki@jfap.or.jp

Dr. Tomoko Kodama  
Chief, Global Health Section, Chief  
Department of Human Resources Development National  
Institute of Public Health  
E-mail: tkodama@niph.go.jp

6. Logistics

Mr. Hideyuki Kanno  
Convention Linkage Inc.  
3F, Sanban-cho KS-Building, 2 Sanban-cho Chiyoda-ku,  
Tokyo 102-0075, Japan  
TEL: +81-3-3263-8686  
FAX: +81-3-3263-8687  
E-mail: kanno@c-linkage.co.jp



Mr. Eric Gibbs  
Convention Linkage Inc.  
3F, Sanban-cho KS-Building, 2 Sanban-cho Chiyoda-ku,  
Tokyo 102-0075, Japan  
TEL: +81-3-3263-8686  
FAX: +81-3-3263-8687  
E-mail: gibbs@c-linkage.co.jp